

10月の序論のポイント5つ

1. 聖餐式

イエス・キリストの十字架の恵みによる救いに対する確信と感謝

2. 集中

私たちの霊的状態が変わった。死 → いのち = 再創造

3. 特別祈り

神様の絶対計画、エジプトや荒野のような今のところに

4. 定刻祈り

たましいは、みことば祈りによって生きる（いやし）

5. まことの答え

御座の力、時空を超越した神の国の祝福をこの世でも味わう

第2課 福音のない人々の質問とイエス様の答え（マタイ 19:13-15）

フォーラムのポイント 「ポケモン」

マタイ 18章 から 19章 全体を見ながら、メッセージを伝えます。

ポケモン（ポケットモンスター）のアニメが出て、もう25年が経ちました。内容は、レムナントのみなさんのほうがよく知っているでしょう。ポケットはポケットで、モンスターは怪物、または、大きくて力がある存在を意味します。ポケットの中の「偶像」と言えるでしょう。



創世記3章の善悪の知識の木の実の事件によって、神様から離れた人間は、自分より力がある存在を「神」として、自分の不安やおそれ、問題の解決、未来の保証をもらいたいと思うのです。それを宗教性とも言います。日本では八百万の神（多種多様な数多くの神）がいるという考え方が古来からあります。それを神学的な用語では「汎神論」と言います。その中心には、「神のようになろうという自分」がいるのです。



マタイ 18章に、一万タラント借りのある者の話が出て来ます。（先週にお話しました）この一万タラントの借りがあるというのは、私たちがどうも返すことができない、解決することができない問題を持っているということです。解決できない問題、つまり、根本問題です。罪とサタン、神様から離れた問題です。それを一万タラントでたとえて言っているのです。その一万タラントを返す方法、問題を解決する方法は、ただひとつ、主人が免除くれることです。そうでないと、絶対に不可能です。神様がゆるしてくださらなければ、解決できないということです。



マタイ 18:25 を見ます。

しかし、彼は返済することができなかったのも、その主人は彼に、**自分も妻子も持ち物全部**も売って返済するように命じた。

一万タラントというのは、16万年働かないと返せない金額です。それゆえ、自分や家族、持ち物全部を売ったり返したことにしようと言った主人が言いました。これは、常識的に理解できない話です。

私たちは、この世の力の原理によって生きています。自分も知らないうちに、力と価値があると思っていることが自分の中にあるということです。ある人はそれが自分自身かもしれません。ある人は夫や妻、子ども（家族）かもしれません。ある人は、お金、名誉、人気かもしれません。主人のこのことばにしもべは次のように答えます。



マタイ 18:26

それで、このしもべは、主人の前にひれ伏して、『どうかご猶予ください。そうすれば全部お払いいたします』と言った。

(猶予：日付や時間を遅らせること)

私にもっと時間を与えてくれれば、必ず返しますということです。自分の力でどうにかして返すことができると錯覚しているのです。

マタイ 19 章にも、お金持ちの青年が出て来ます。

マタイ 19:16-17

16 すると、ひとりの人がイエスのもとに来て言った。「先生。永遠のいのちを得るためには、どんな良いことをしたらよいのでしょうか。」

17 イエスは彼に言われた。「なぜ、良いことについて、わたしに尋ねるのですか。良い方は、ひとりだけです。もし、いのちに入りたいと思うなら、戒めを守りなさい。」

このイエス様の答えの中に重要な内容が隠されています。

「良い方はひとり」すなわち「神様」です。

このことばは、**神様以外には良いものはない**ということです。人間はどれだけ良い行いをして、善を行なおうとしても、人間自体が良いものではないので、なにをしてもそれは良い行いにはなりません。

ローマ 3:10-12

10 それは、次のように書いてあるとおりです。「義人はいない。ひとりもない。」

11 悟りのある人はいない。神を求め人はいない。

12 すべての人が迷い出て、みな、ともに無益な者となった。善を行なう人はいない。ひとりもない。」



「いのちに入りたと思うなら、戒めを守りなさい。」とイエス様の答えは、「あなたが本当に戒めを守ることができと思うのか」という意味の答えでした。絶対にできないということです。
そこで、青年は答えます。

マタイ 18:18-22 を見ましょう。

18 彼は「どの戒めですか」と言った。そこで、イエスは言われた。
「殺してはならない。姦淫してはならない。盗んではならない。偽証をしてはならない。
19 父と母を敬え。あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。」

すると、青年が答えます。

20 この青年はイエスに言った。「そのようなことはみな、守っております。何がまだ欠けているのでしょうか。」
21 イエスは彼に言われた。「もし、あなたが完全になりたいなら、帰って、あなたの持ち物を売り払って貧しい人たちに与えなさい。そうすれば、あなたは天に宝を積むことになります。そのうえで、わたしについて来なさい。」

マタイ 18章 に出て来た、一万タラントの借りのある者のしもべに、主人が言ったことばと同じです。
「あなたの持ち物を売り払って」来なさいということです。

そうしたら、

18:22 ところが、青年はこのことばを聞くと、悲しんで去って行った。この人は多くの財産を持っていたからである。

このみことばを誤解してはいけません。お金をたくさん持っている人は救われないというみことばではありません。18章の一万タラントの借りのある者は、自分自身や家族、持ち物、それがポケモンだったのです。
19章 に出てくるお金持ちは、戒めと律法を守る行為、それと財産が、この人のポケモンだったのです。

マタイ 6:24 を見ると、次のように書いてあります。

だれも、ふたりの主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛したり、一方を重んじて他方を軽んじたりするからです。あなたがたは、神にも仕え、また富にも仕えるということはできません。



最後に 18章 と 19章 を見ると、急にペテロが出て来て質問をする場面があります。

18:21 そのとき、ペテロがみもとに来て言った。「主よ。兄弟が私に対して罪を犯した場合、何度まで赦すべきでしょうか。七度まででしょうか。」

19:27 そのとき、ペテロはイエスに答えて言った。「ご覧ください。私たちは、何もかも捨てて、あなたに従ってまいりました。私たちは何がいただけるでしょうか。」

これは、大した質問ではないかのように見えますが、一万タラントの借りがある者、お金持ちの青年、そしてペテロは、同じような人間であることを現しています。ペテロも、イエス様のゆるしが必要な者であるのに、自分がだれかをゆるすことができると錯覚していました。また、イエス様のためにすべてを捨てたことを、自分の義と自分の力としたのです。

結局、ペテロが持っていたポケモンは、なんでしょう。

他の人に認められようとする心、もっと大きく、多くのことを得ようとして、なにかを捨てる行為、これがペテロが持っていたポケモンです。

マタイ 18 章と 19 章は、みなさんが最後まで読んでみてください。

10 月の 2 週目、私の心と考えの中に、神様ではない他のポケモン、他の偶像が入っているのではないかとフォーラムをして、黙想する一週間となることを願います。

